



2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス
コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝田 康二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 宮田 圭一郎

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	11,218	4.3	961	10.0	885	7.9	665	133.5
2022年9月期第3四半期	10,759	7.0	873	13.0	820	14.0	284	57.3

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 801百万円 (121.1%) 2022年9月期第3四半期 362百万円 (53.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	64.24	
2022年9月期第3四半期	27.53	27.38

(注) 当第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	22,259	4,073	18.1
2022年9月期	23,380	3,601	15.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 4,022百万円 2022年9月期 3,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		23.00	23.00
2023年9月期		10.00			
2023年9月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,839	4.4	1,216	0.6	1,049	7.0	794	59.9	76.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期3Q	10,956,500 株	2022年9月期	10,956,500 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年9月期3Q	600,167 株	2022年9月期	600,167 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期3Q	10,356,333 株	2022年9月期3Q	10,347,945 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	12
3. その他	12
役員の異動	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国及び世界経済は、経済活動の正常化に伴い景気の緩やかな持ち直しの動きが続いたものの、世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇、ウクライナ情勢の長期化など、引き続き不透明な状況が続いています。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は11,218百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益は961百万円（前年同四半期比10.0%増）、経常利益は885百万円（前年同四半期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は665百万円（前年同四半期比133.5%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、政府の2050年カーボンニュートラル宣言、エネルギー基本計画等、再生可能エネルギー導入に対する政府の支援姿勢は継続しており、今後も、国内再生可能エネルギー市場は、より一層拡大していく見通しのなか、当社グループは、現在15ヶ所の太陽光発電所を運営しております。すべての発電所において、自社エンジニアが発電所運営管理業務（O&M）を担当すると共に、発電所設置地域を全国各地に分散し気候リスク低減を図っております。発電量は一部地域にて出力制御の影響を受け、減少傾向ではありますが、安定稼働しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,724百万円（前年同四半期比5.5%減）、営業利益は791百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、政府による携帯電話料金の見直し要請により、大手通信事業者各社が通信料金の値下げの実施やオンライン専用の低料金プランを開始する等、通信事業者間の価格競争が激化しています。また、お客様の携帯端末保有の長期化やSIMのみの契約の増加などにより利益率が減少しています。このような事業環境のなか、外販専門部隊を増員し、商業施設等への積極的な営業展開をし販売数の向上に努めて参りました。また、対面サービスを通じて地域のDX化を支える拠点と位置づけ、お客様満足度向上に向けた人材育成に注力するとともに、お客様の意向に合わせた料金プランの案内、スマートフォンの販売のほか、光回線、キャッシュレス決済に加え、アドレス等のデータ移行や保護フィルム貼り等を有償で提供するなど、多様なサービスを提供しています。更には、店舗の運営効率を向上させるため、当社の主要地域におけるドミナント出店戦略を推進しました。この結果、当第3四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ52,599台（前年同四半期比2.3%減）となりましたが、上記施策により売上高は7,703百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益は287百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

③保険代理店事業

保険代理店事業につきましては、生命保険における高額な死亡保険のニーズが低下する一方、医療保険などの第三分野商品の加入件数が堅調に推移し、現在の主力販売商品になっております。しかしながら、稼働人員減少の影響により主力販売商品の募集状況が引き続き低調に推移いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は723百万円（前年同四半期比15.6%減）、営業利益は114百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、少子高齢化、世帯人数の減少、新型コロナウイルス感染症以降の家族葬の増加による葬祭規模の縮小等、葬儀や供養のあり方自体が変化しております。直近ではコロナ禍以前のように、多数のご参列をいただく一般葬の需要も回復傾向にありますが、葬祭規模の二極化が進行しているものと捉えております。そのような環境下で、地域密着型で高効率な運営を目的として、現在、愛知県の知多エリア及び西三河エリアで8会館を運営し、近隣店舗の高い連携効率を実現しています。また専門知識と経験豊富な葬祭ディレクターによるお客様本位の対応、お客様のご要望に合わせたきめ細かな料金プラン設定により、葬儀施行単価は堅調に増加しています。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は819百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益は160百万円（前年同四半期比26.8%増）となりました。引き続き、“葬儀”という非日常的な場面において、高い専門性とホスピタリティをもって多様化するお客様のニーズにお応えするとともに、各種営業施策の展開により会員増加に努めてまいります。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、名古屋市千種区に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を運営しており、当第3四半期連結累計期間における売上高は53百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は14百万円（前年同四半期比21.1%増）となりました。

⑥ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業につきましては、BtoBビジネスのプラットフォームとして、DX化の需要の高まりを背景に、携帯電話と光回線サービスを中心に法人のお客様の業務効率化、コスト削減に関するコンサル営業を展開しております。営業人員の増員と関東地域の拠点開設により新規顧客を開拓し、売上規模の拡大に努めました。前連結会計年度末にて、法人向けの新電力の販売を終了したことにより当第3四半期連結累計期間における売上高は198百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益は22百万円（前年同四半期比84.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は22,259百万円となり、前連結会計年度末の資産合計23,380百万円と比べ1,120百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が345百万円、売掛金及び契約資産が137百万円、有形固定資産が639百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は18,186百万円となり、前連結会計年度末の負債合計19,778百万円と比べ1,592百万円減少しました。これは主に、買掛金が68百万円、短期借入金が200百万円、1年内償還予定の社債が90百万円、返金負債が102百万円、長期借入金が1,129百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,073百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計3,601百万円と比べ471百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が323百万円、その他有価証券評価差額金が102百万円発生したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日付「業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,548,634	3,202,929
売掛金及び契約資産	1,375,507	1,237,900
商品	572,722	657,700
その他	445,020	303,309
貸倒引当金	△7,316	△9,637
流動資産合計	5,934,567	5,392,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,935,948	1,860,102
機械装置及び運搬具(純額)	8,782,709	8,250,119
土地	3,651,039	3,651,039
建設仮勘定	22,000	—
その他(純額)	39,121	29,704
有形固定資産合計	14,430,818	13,790,965
無形固定資産		
のれん	1,055,887	1,013,549
その他	418,560	389,497
無形固定資産合計	1,474,448	1,403,047
投資その他の資産	1,540,568	1,673,366
固定資産合計	17,445,835	16,867,379
資産合計	23,380,402	22,259,582
負債の部		
流動負債		
買掛金	698,643	630,641
短期借入金	3,420,000	3,220,000
1年内償還予定の社債	270,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,467,221	1,458,290
未払法人税等	146,160	81,842
返金負債	313,732	211,605
賞与引当金	147,351	73,350
株主優待引当金	4,839	5,061
その他	551,156	682,163
流動負債合計	7,019,104	6,542,956
固定負債		
社債	135,000	90,000
長期借入金	11,892,059	10,762,617
繰延税金負債	32,091	77,526
役員退職慰労引当金	182,545	191,473
退職給付に係る負債	136,094	145,465
資産除去債務	297,992	295,818
その他	84,102	80,439
固定負債合計	12,759,885	11,643,340
負債合計	19,778,990	18,186,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,557,088	2,880,577
自己株式	△768,713	△768,713
株主資本合計	3,220,712	3,544,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	409,007	511,482
繰延ヘッジ損益	△36,240	△33,309
その他の包括利益累計額合計	372,767	478,172
新株予約権	—	11,660
非支配株主持分	7,932	39,250
純資産合計	3,601,411	4,073,285
負債純資産合計	23,380,402	22,259,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	10,759,087	11,218,424
売上原価	6,544,099	6,997,810
売上総利益	4,214,988	4,220,614
販売費及び一般管理費	3,341,472	3,259,354
営業利益	873,515	961,260
営業外収益		
受取配当金	31,358	33,379
受取保険金	2,138	6,102
営業支援金収入	22,614	3,815
保険解約返戻金	35,246	—
その他	26,953	35,980
営業外収益合計	118,311	79,278
営業外費用		
支払利息	135,130	119,960
融資手数料	30,077	28,734
その他	5,728	6,300
営業外費用合計	170,936	154,995
経常利益	820,890	885,542
特別利益		
固定資産売却益	3,298	35,481
受取補償金	37,000	—
その他	9,342	—
特別利益合計	49,641	35,481
特別損失		
固定資産除却損	13,732	2,525
ゴルフ会員権売却損	329	381
投資有価証券評価損	2,224	—
訴訟和解金	15,000	—
決算訂正関連費用	158,498	—
減損損失	184,530	—
特別損失合計	374,314	2,907
税金等調整前四半期純利益	496,216	918,116
法人税等	191,737	221,550
四半期純利益	304,478	696,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,584	31,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,894	665,248

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	304,478	696,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,408	102,474
繰延ヘッジ損益	102,632	2,930
その他の包括利益合計	58,224	105,405
四半期包括利益	362,702	801,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,118	770,654
非支配株主に係る四半期包括利益	19,584	31,317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	1,824,956	—	—	—	—
端末売上	—	3,257,741	—	—	—
附属品売上	—	1,024,947	—	—	—
手数料収入	—	2,799,639	551,735	—	—
支援金収入	—	9,787	305,856	—	—
葬儀売上	—	—	—	677,563	—
その他	360	—	—	63,447	11,038
顧客との契約から 生じる収益	1,825,316	7,092,117	857,592	741,011	11,038
その他の収益	—	—	—	—	32,242
外部顧客への売上高	1,825,316	7,092,117	857,592	741,011	43,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	10,312
計	1,825,316	7,092,117	857,592	741,011	53,593
セグメント利益	887,087	207,254	110,141	126,921	12,182

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリュー ション事業	計		
売上高				
売電売上	—	1,824,956	—	1,824,956
端末売上	111,719	3,369,461	—	3,369,461
附属品売上	4	1,024,952	—	1,024,952
手数料収入	87,869	3,439,244	—	3,439,244
支援金収入	—	315,644	—	315,644
葬儀売上	—	677,563	—	677,563
その他	175	75,022	—	75,022
顧客との契約から 生じる収益	199,769	10,726,844	—	10,726,844
その他の収益	—	32,242	—	32,242
外部顧客への売上高	199,769	10,759,087	—	10,759,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,312	△10,312	—
計	199,769	10,769,400	△10,312	10,759,087
セグメント利益	12,414	1,356,001	△482,486	873,515

(注) 1. セグメント利益の調整額△482,486千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△497,274千円及び、その他の調整額14,787千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	1,723,892	—	—	—	—
端末売上	—	3,570,994	—	—	—
附属品売上	—	1,227,966	—	—	—
手数料収入	—	2,901,259	409,561	—	—
支援金収入	—	3,142	313,994	—	—
葬儀売上	—	—	—	753,540	—
その他	360	—	—	65,526	15,132
顧客との契約から 生じる収益	1,724,252	7,703,361	723,555	819,066	15,132
その他の収益	—	—	—	—	34,077
外部顧客への売上高	1,724,252	7,703,361	723,555	819,066	49,210
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	3,862
計	1,724,252	7,703,361	723,555	819,066	53,072
セグメント利益	791,577	287,602	114,127	160,961	14,754

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリュー ション事業	計		
売上高				
売電売上	—	1,723,892	—	1,723,892
端末売上	124,400	3,695,394	—	3,695,394
附属品売上	312	1,228,278	—	1,228,278
手数料収入	73,765	3,384,585	—	3,384,585
支援金収入	500	317,637	—	317,637
葬儀売上	—	753,540	—	753,540
その他	—	81,019	—	81,019
顧客との契約から 生じる収益	198,978	11,184,346	—	11,184,346
その他の収益	—	34,077	—	34,077
外部顧客への売上高	198,978	11,218,424	—	11,218,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,862	△3,862	—
計	198,978	11,222,287	△3,862	11,218,424
セグメント利益	22,850	1,391,873	△430,612	961,260

(注) 1. セグメント利益の調整額△430,612千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△445,522千円及び、その他の調整額14,909千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象等)

該当事項はありません。

3. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、2023年5月19日公表の「当社及び連結子会社の役員人事に関するお知らせ」、「連結子会社の代表取締役の異動に関するお知らせ」及び「取締役の異動（辞任）に関するお知らせ」をご覧ください。